

校長室から

令和元年8月30日

「長中生、保護者・地域の皆様、教職員 の温かさを生涯忘れません」

八巻竜一教頭先生が昨日、離任しました。年度途中の離任はとても寂しいことですが、八巻先生の誠実さ、懐の深さ、人間性、知識・教養、様々な事が認められての校長先生としてのご昇任です。長町中学校の関係者全員でお祝いしたいと思えます。

八巻先生は、平成30年度の4月、本校の教頭として赴任しました。赴任してすぐの着任式の日「校舎も人間の心もきれいで、みんなが笑顔になって、夢を語れるディズニーランドのような学校にしたい。」と語りかけてくれました。私は、その言葉がとても心に残り、自分なりに八巻先生の「ディズニーランドのような学校」という意味を考え続けてきました。そして今も考え続けています。

八巻先生は、朝早く出勤し、校舎内外を点検し、その後すぐにゴミ袋を持って、毎日、地域の清掃に出かけ、それが日課のようになっていました。ある時、私は八巻先生に「どうして毎日、地域の掃除をしに行くのか？」と問いかけてみました。「校長先生、生徒が毎日登校してきますよね。いつもきれいにしておく、生徒も気持ちよく登校できますよね。」そして「地域の方々とあいさつを交わすのが、私の楽しみです。」と笑って答えてくれました。このような教頭先生と一緒に仕事ができる事とても喜びに感じていました。

昨年の年度末の学校評価の自由記述で保護者の方から次のような温かいメッセージをいただきました。「学校に近いので、学校の様子をよく目にします。朝、八巻先生が生徒達にあいさつし、ギリギリに来る生徒の肩を抱きながら門に入っていったりしています。とても先生としてあるべき姿として、中学生を持つ親としてはうれしく見ております。門を閉められた後も、必ず学校の周りのゴミを拾っていらっしゃいます。誰かにみせるわけでもなく、こういうことができる先生がいることを誇りに思います。」

八巻先生の気持ちや行動が皆さんや保護者の皆様、地域の方々にも確実に伝わっていると感じます。昨日の離任式では生徒代から、本当に心に染みるメッセージが八巻先生に送られました。そして、生徒の校歌合唱。やはり八巻先生にとっては、生徒の言葉、そして私達の学校のプライドの一つである生徒たちの素晴らしき校歌合唱は、何にも代えがたい贈り物だったと思います。

式の後、校長室で八巻先生は、「校長先生、この離任式は生涯忘れません。やはり長中はNo.1です。何をしても心がこもっていて、生徒も保護者の方々も、教職員も最高です。」とても嬉しいですね。八巻先生はいつも、皆さんに優しく声掛けし、生徒の事を第一に考え、充実した学校生活を送っている生徒には励ましを、苦しんでいる生徒には寄り添い、話を聞き、一緒に遊び、一緒に学び、そして、生徒の心を理解しようとする素晴らしき先生であり、大人としての手本でした。

離任式では、皆さんが心のこもった式にしようとする雰囲気は体育館に入った瞬間に分かりました。大人も生徒も出会いや別れは、嬉しくもあり、寂しいものです。そんな瞬間を心と心で共有できる幸せが、八巻先生が皆さんに語りかけた「長中はNo.1です。」という意味だと思います。しっかりと受け止めたいと思えます。そしてお互いの学校、お互いの生徒達、お互いの保護者、地域の方々の発展を祈り、そして何より八巻校長先生の今後の活躍を祈念し、お別れとしたいと思います。